

XⅢ 特色ある公民館活動

4 フォーラムイベントによる協働のまちづくりの推進

志摩町教育委員会社会教育課主幹 高田直一

- ① 事業名 フォーラムイベントによる協働のまちづくりの推進
- ② 事業の目的 協働のまちづくりの推進と地域に役立つ先進的な情報の提供
- ③ 事業の実施主体 よか志摩フォーラム実行委員会
- ④ 連携・協力機関 志摩町・志摩町教育委員会・豊かで安全な志摩町を考える住民の会
- ⑤ 事業予算 中央公民館予算の講師謝金・消耗品費 約50,000円
- ⑥ 実施に至る経緯

志摩町では平成18年4月から町内の4町立公民館に職員を1名ずつ配置し、生涯学習の推進を通して人材の育成や発掘を支援するために、従来の公民館事業に加え協働のまちづくりの推進に力点を置いている。

行政あるいは地域住民や各種団体が課題解決のための施策を立案し、行動に移すこと、その糸口としてのキーワードは「協働」。住民、町、議会など、それぞれの立場を超えて同じ目的に向かって動くことだと考える。

可也地区の地域住民が最も集いやすい志摩町立中央公民館を会場に、現代社会で比較的关注が高いと思われる、環境、自然、食、安全・安心などをテーマとし、学習する機会の提供を目的とした『豊かで安全な志摩町を考えるつどい(よか志摩フォーラム)』を企画した。可也地域の住民グループによる発案である。志摩町・志摩町教育委員会、豊かで安全な志摩町を考える住民の会の三者による実行委員会形式とした。

⑦ プログラム作成の視点

「豊かでかつ安全なまちづくり」のために、節水、省エネ、自然利用、安全・安心などの地域に役立つ先進的な情報を提供するとともに、「協働のまちづくり」に対する住民の関心を高め、住民からの自発的な提案の誘発、まちづくり組織の構築や、まちづくりリーダーの育成に寄与する。

⑧ 事業の内容

2007年6月23日(土)と24日(日)に『よか志摩フォーラム』を、2008年6月7日(土)と8日(日)に『よか志摩フォーラム2008』をフォーラムイベントとして開催。

イベント内容は食、農、環境、安全・安心に関する講演と持続可能な循環型社会をめざす機器、社会貢献活動、地域の環境保護活動などの展示紹介。『よか志摩フォーラム2008』ではシニアファッションショも開催。高齢化社会が進む中において、シニア世代を対象としたファッションショーでいきいきとした生活スタイル、健やかな暮らしのヒントを提案した。

よか志摩フォーラム

～ここら豊かで安心・安全な協働のまちづくり～

環境・生活・食と農・省エネなど、安心・安全な暮らしを考える8つの講演会を下記期日に開催します。開催期間中は雨水利用や節水、災害対応設備、バイオディーゼルの竹の有効利用、里山づくり活動などの展示も行いますので、是非ご来場ください。

入場無料

と き： 6月23日(土)と24日(日)

と ころ： 志摩健康管理センター (志摩町大字初18番地)


TEL (092) 327-1734

駐車場： 志摩町役場の駐車場をご利用ください

6月23日(土) 10時開会	6月24日(日) 10時30分開会
<ul style="list-style-type: none"> 10時00分～11時20分 『生活の中の環境・節水について』 志摩町 田中 美津子氏 11時20分～12時20分 『地域の安全とLSDの活用について』 サンラック 中崎一郎氏・秋田 幸徳氏 12時20分～13時00分 『食と農をもっと身近に』 九州大学農学部 神田 真生氏 13時00分～14時00分 『環境浄化は最新から』 志摩町小倉丸 森 美智代氏 14時00分～15時00分 『現代の食習慣への脅威―節水の効用』 玄米新菜 岩田 芳之氏 	<ul style="list-style-type: none"> 10時00分～11時00分 『防災型―雨水の再利用を考える』 NPO法人南信ふんふん水する会 山下 寿和氏 11時00分～12時00分 『廃生物を利用した堆肥化施設』 九州大学工学部 菅井 新一 助教 12時00分～13時00分 『雨水下流を利用した省エネシステム』 九州大学工学部 藤井 光 准教授

くらしのヒント展示(23日と24日)

- ◇ 雨水利用機器 ◇ 節水・水廻り機器
- ◇ 災害対応設備 ◇ バイオディーゼル燃料
- ◇ 竹の有効利用 (木の葉のすくい)
- ◇ 美しい暮らしの庭園・ガーデンセンター
- ◇ 防災避難所・・・いろいろ



どのおもてなしにも感謝です

主催：よか志摩フォーラム実行委員会
共催：志摩町・志摩町教育委員会・豊かで安全な志摩町を考える住民の会



よか志摩フォーラム2008

～考えてみませんか？豊かなくらしとエコロジー～

と き： 6月7日(土) 8日(日)

と ころ： 志摩健康管理センター (志摩町役場前 中央公民館)

駐車場： 役場駐車場をご利用ください

入場無料

『輪島のまちづくり』の中から温暖化対策や循環型社会・地域づくりや豊かなくらしについて考える4つの講演と暮らしのヒント展を開催します。シニアファッションショーもある多彩なイベントです。ぜひお誘いあわせのうえご来場ください。

お問合せ先：志摩町立中央公民館 (電話 327-1734)

6月7日(土) 10時～15時30分	6月8日(日) 10時～16時
<p>今、G1を見直そう！―食と行動―</p> <p>10時～ 講演の 『いしほの環境と命を考える』 九州大学農学部 佐藤剛史 助教</p> <p>13時30分～ 講演の 『自然農の連鎖―日々生かされて』 二又町 松尾裕子さん</p>	<p>暮らしのヒント展(多目的運動室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 節水機器展示 ◇ 節水の達人 ◇ 雨水利用展示 ◇ 節水の達人 ◇ 節水の達人 ◇ 節水の達人 <p>その他、体験イベント、パッチワークなど</p>

主催：よか志摩フォーラム実行委員会
共催：志摩町・志摩町教育委員会・豊かで安全な志摩町を考える住民の会



⑨ 事業の成果

(1) 『協働のまちづくり』に対する住民の理解

住民と行政が共に企画・運営したことにより志摩町が推進している「協働のまちづくり」に対する住民の関心を高め、協働のまちづくりのイメージが実感できたとともに、住民の自発的な活動展開へと導くことができ、住民グループによる更なる動きへと発展した。住民の会は定期的に会議をもつようになり、次年度にむけて企画考案中。

(2) まちづくり住民グループのネットワーク構築とリーダーの台頭

講演会では講師と参加者、参加者同士の交流ができたと同時に、まちづくりリーダーの台頭と住民グループのネットワーク構築に寄与できた。

(3) 九州大学研究者と地域との架け橋

九州大学の研究者と地元の里山保存グループとの共同研究へも発展している。

⑩ 今後の課題

(1) イベント内容の検討・人材の発掘

住民ニーズの掘り起こしやもっと身近な課題や話題をあらゆる方面から柔軟に考えてみる必要がある。地域に隠れた人材(宝石)の発掘と活躍できるステージを提供することも重要だと考える。

(2) 開催時期

通常の公民館事業の狭間である6月に開催したが、各行政区の一部行事と重なり町内住民の来場が期待していたほどではなかった。開催時期を考えてみる必要がある。

(3) 予算の措置

2007年のよか志摩フォーラムでは講師は無報酬で講演いただいたが、それなりの謝金は必要。よか志摩フォーラム2008では小額ながら講師謝金を予算化した。

(4) 民間会社の展示方法の工夫

展示会場の民間会社ブースについては会場が公的施設のため営業活動の自粛に協力いただき、最先端の技術や情報の提供のみとした。他市町村の例を調査し、どこまで柔軟に対応できるかを研究する必要がある。

(5) 広報の工夫

(6) 公民館の支援体制

イベント開催により「協働のまちづくり」を体感した住民あるいは住民グループがまちづくりの主体として自覚し、積極的にまちづくりに参画し持続できるような組織づくりをいかに公民館が支援できるか。まちづくりや地域づくりのシカケ、人材の発掘ができるのは公民館としての優れた特性だと感じている。

(7) 1市2町合併後の展開方法

2010年1月1日に糸島地区の前原市、志摩町、二丈町の1市2町が合併し人口10万人の「糸島市」が誕生するが、中央公民館で展開してきた協働のまちづくりの推進をどのように進めていくかが今後の重要な課題。

問い合わせ先

〒819-1312 糸島郡志摩町大字初18番地
志摩町立中央公民館 (Tel 092-327-1734 FAX同番号)